

MITSUBISHI

三菱IHクッキングヒーター据付説明書

ビルトインタイプ(单相200V)【家庭用】

形名

200V・30A 機種

CS-KMG38E
CS-KMG38ES
CS-KMG38EB
CS-KMG38M
CS-KMG38MS
CS-G38M
CS-G38MS
CS-LEG38ES

200V・20A 機種

CS-G38M20A

据付される方へのお願い

- 据付の前に必ずこの説明書をお読みにになり、正しく安全に据付けてください。
- 設置場所が常に水平で安定していることを必ず確認してください。
- 据付完了後に試運転を行い、お客さまへ正しい使い方をご説明ください。
- この説明書では、イラストを簡略化しておりますので製品と一部異なります。
- この説明書は必ずお客さまにお渡しください。
- ガス事業者への連絡をせずにガス工作物（ガス配管、ガスメーター、ガス栓等）を無断に撤去することは法令により規制されておりますので、事前にガス事業者への連絡が必要となります。

1 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

■図記号の意味は次のとおりです。

 警告	死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	 禁止	 接触禁止	 アース線接続
 注意	軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの	 分解禁止	 指示に従う	

警告

 絶対に分解・改造は行わない 発火・異常動作してけがをする恐れがあります。 ※トッププレートを取り外さないでください。 ※電源コードの直付けはしないでください。	 据付は、この「据付説明書」に従って、確実にを行う 据付に不備があると、漏電・火災の原因
 トッププレートに衝撃を加えない 万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因 ※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしない。	 電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事が施工し、必ず専用回線を使用する 接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因
 指定以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する [200V・30A 機種] [200V・20A 機種] 200V・30A以上 200V・20A以上 この工事をしないと、配線部が異常発熱する恐れがあります。	 アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事がD種接地工事を行う 漏電時に感電の恐れがあります。

注意

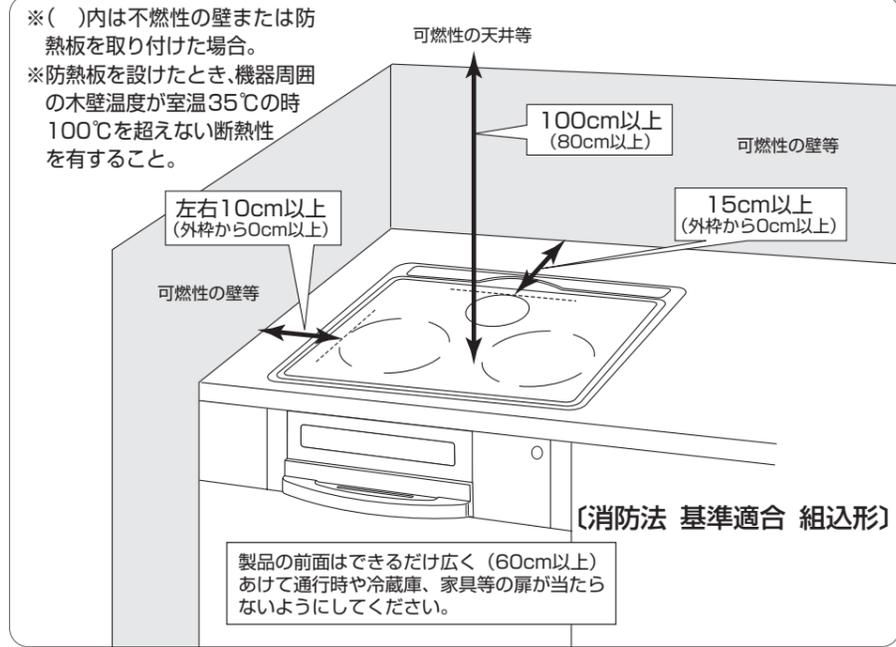
 試運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部に触れない やけどの恐れがあります。
 ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う 熱硬化性樹脂化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上のもの。 耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因 ※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

2 設置場所の確認

火災予防条例、電気設備技術基準に従って設置してください。

壁・天井等からの距離

■周囲が可燃性の壁の場合

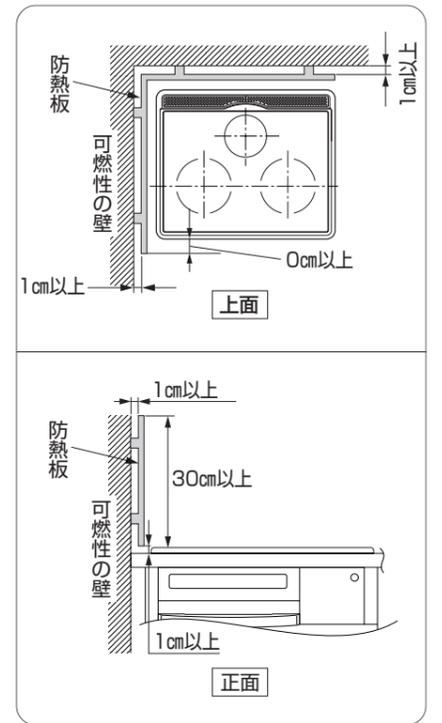


お願い

製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備技術基準第59条で危害なきよう設置することが定められています。）

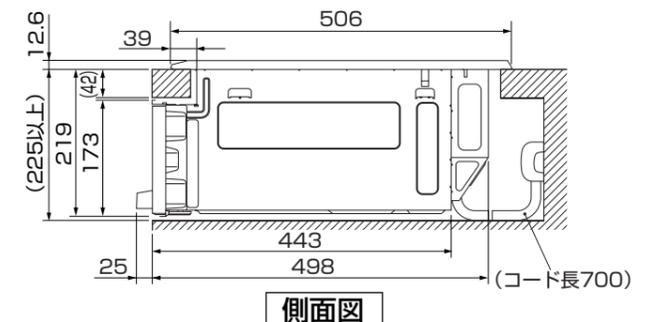
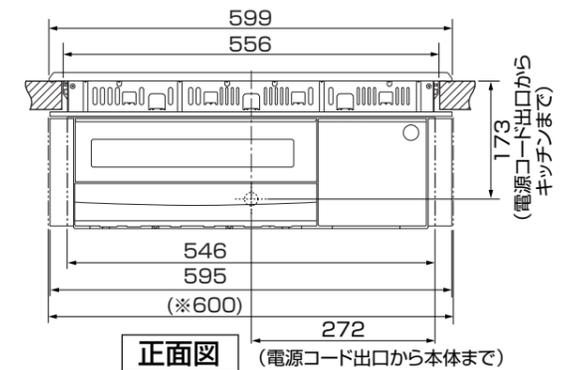
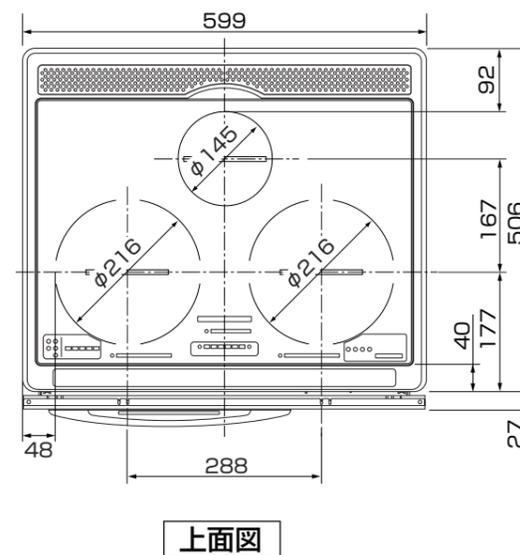
■可燃性の壁から、上記の距離を離して設置できない場合

●防熱板を取り付ける



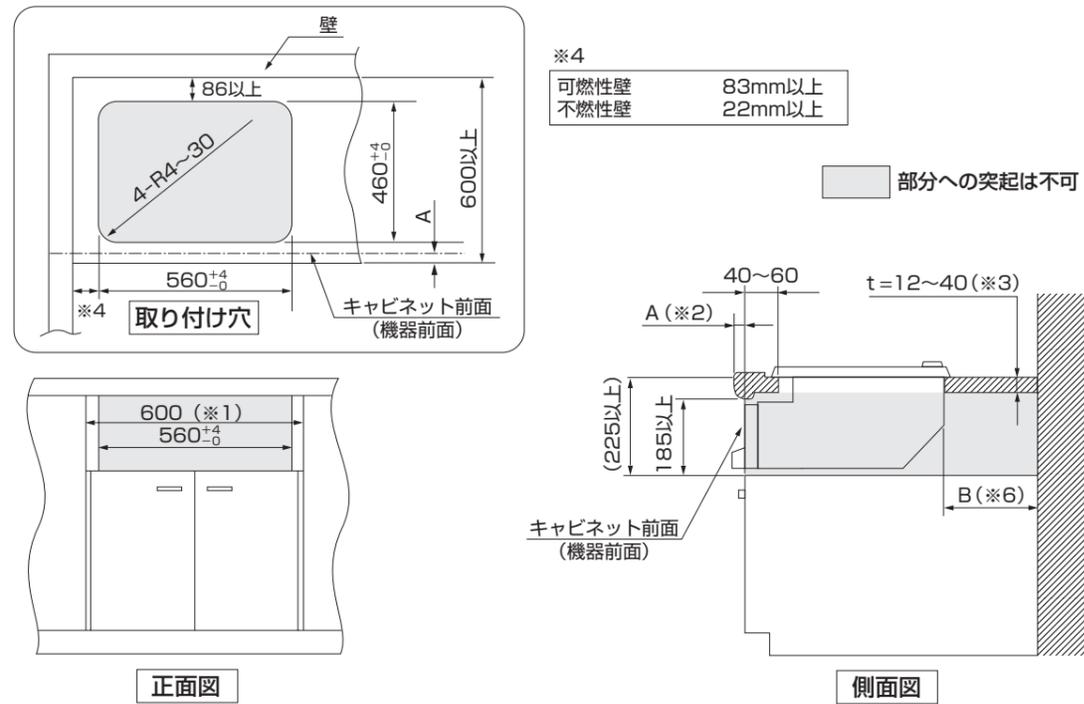
3 製品外形寸法図

単位：mm



※据付の際、前面より奥行20mmまでは600mm幅の空間が必要です。

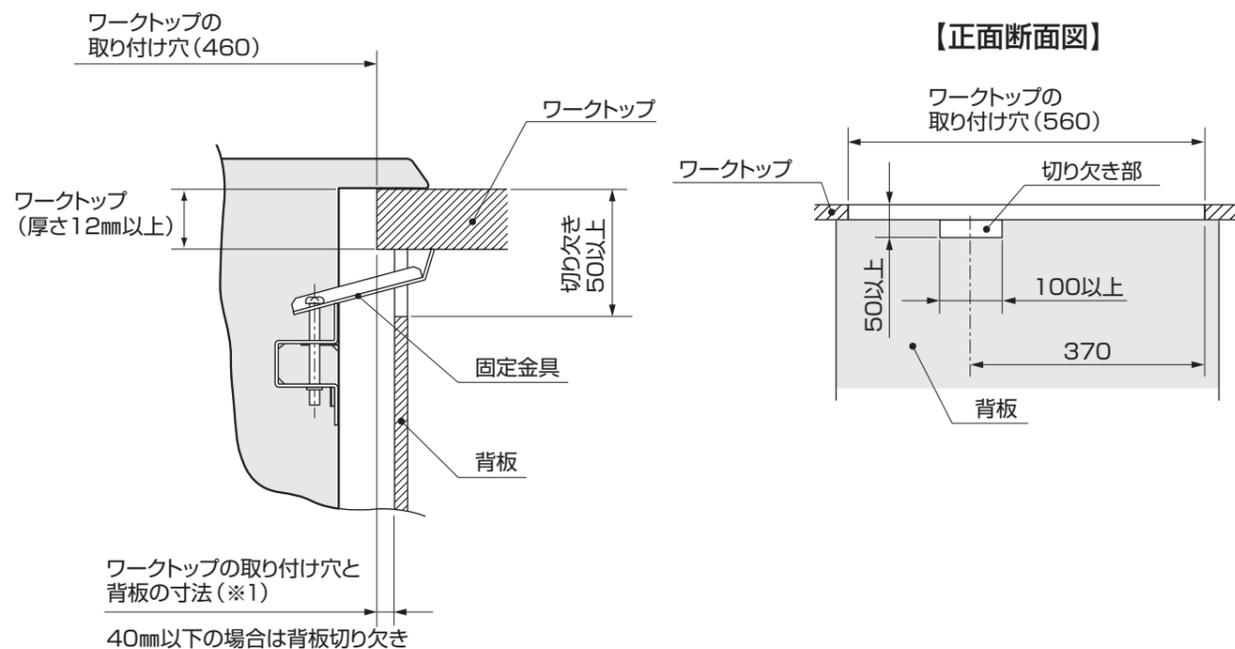
4 システムキッチンとの関係寸法図 単位：mm



- ※1 据付の際、前面より奥行20mmまでは600mm幅の空間が必要です。
- ※2 A寸法はワークトップ前面とキャビネット前面(機器前面)との差です。
- ※3 ワークトップの厚みが薄いと(12mm以下)、後固定金具が固定できません。その場合は当て木を添えてください。→P.6 手順 4 参照
- ※5 本体底面孔をふさがないように225mm以上の高さが必要です。
- ※6 B寸法は、ワークトップ取り付け穴と背板の寸法で80mm以上あればパナソニック電工製の露出コンセント(WK36301B)が使えます。

キャビネットの後方に背板がある場合は、次の加工を行ってください。

■ワークトップの取り付け穴と背板の寸法(※1)が40mm以下の場合は、固定金具が通るように背板に切り欠きを設けてください。



5 電気工事 必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

専用回路と漏電しゃ断器の設置

	200A・30A 機種	200A・20A 機種 (CS-G38M20A)
専用回路	ブレーカー付き 単相200V・30A以上	ブレーカー付き 単相200V・20A以上
屋内配線用電線	線径φ2.6mm以上	線径φ2.0mm以上
漏電遮断器	【推奨漏電遮断器】 定格電流 30A 感度電流 30mA パナソニック電工：BJS3032N (HBモジュール) BSHE23032 (コンパクトタイプ)	【推奨漏電遮断器】 定格電流 20A 感度電流 15mA パナソニック電工：BJS2022N (HBモジュール) BSHE22022 (コンパクトタイプ)

- 電源は必ず単相200Vを使用する。
- 三相三線式には絶対に接続しない。

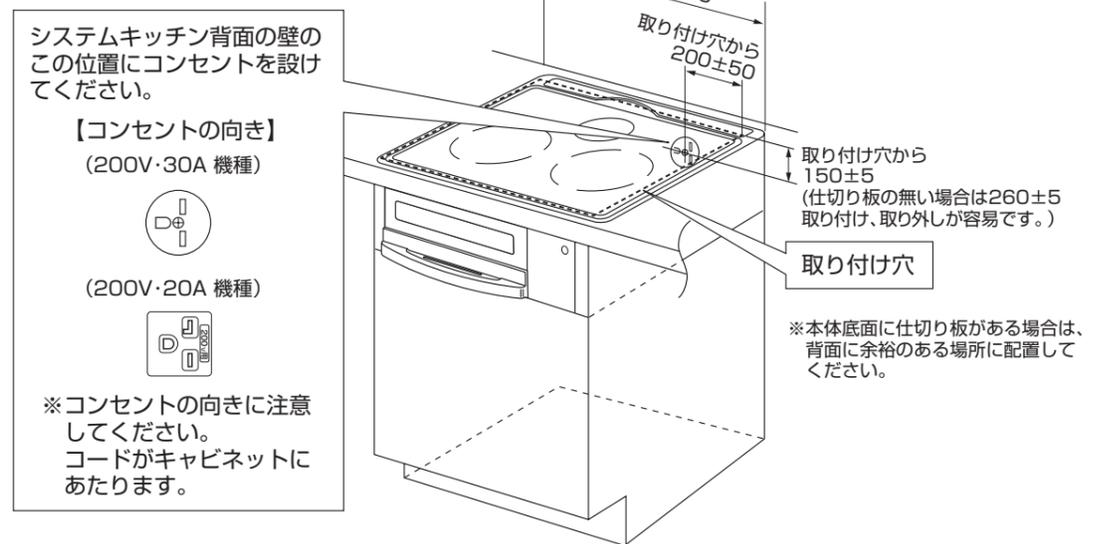
コンセントの設置 単位：mm

■電源コンセント

200V・30A 機種	200V・20A 機種 (CS-G38M20A)
単相250V・30A (一極接地用) ※推奨コンセント パナソニック電工：WK36301B (露出型) WK3630 (露出型) WK3630B (埋込型)	単相250V・20A (一極接地用) ※推奨コンセント パナソニック電工：WKS294 (露出型) WN1932 (埋込型)
コンセント 差し込み形状  接地2P30A	コンセント 差し込み形状 

- 電源コードの直付けは絶対にしないでください。
- 直付けは製品の改造となり、故障や損傷の場合、保証期間内でも有料修理になります。

■コンセントの位置



警告



D種接地工事を必ず行ってください。

アース線接続

コンセントの一極接地用に配線してください。

6 据付する

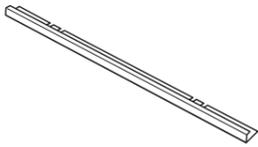
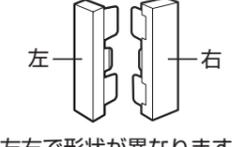
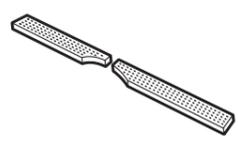
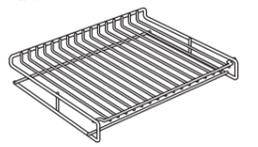
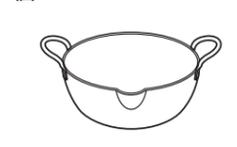
据付前の準備

■包装材料を取り外し、同梱品を確認する

●取扱説明書、保証書があることを確認してください。

●グリル受け皿内・グリルあみの包装材を取り除いてください。

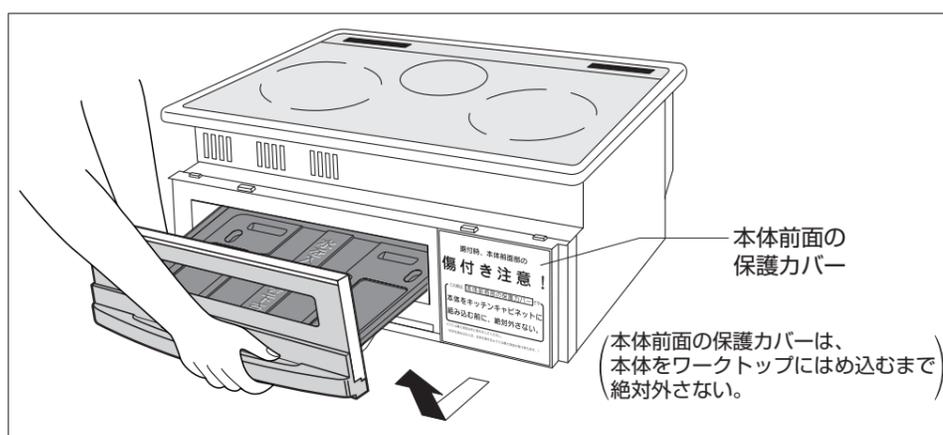
※チェック欄は同梱品確認用としてご利用ください。(例☑)

<input type="checkbox"/> 上ルーバー 1個 	<input type="checkbox"/> サイドカバー 2個 左 右 左右で形状が異なります。 	<input type="checkbox"/> 吸・排気カバー 1セット(2個) 
<input type="checkbox"/> グリルあみ 1枚 	<input type="checkbox"/> 天ぶらなべ 1個 	

■グリル扉・受け皿を取り外す

●グリル扉の取っ手を持って引き出し、受け皿を支えながら斜め上方に引き上げる。

※グリル受け皿は、グリル扉ごと本体から外さないと取り出せません。(無理に取り出そうとするとグリル受け皿破損の原因)

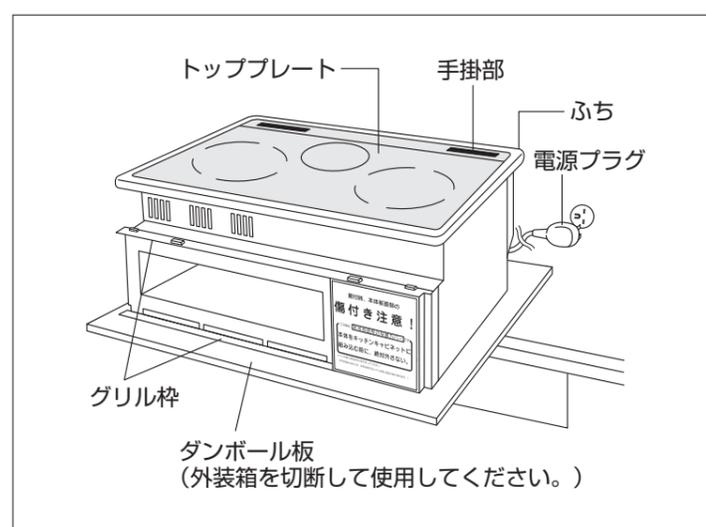


本体の据付 (ブレーカーを“切”にして据付を行ってください。)

1 電源プラグを差し込む

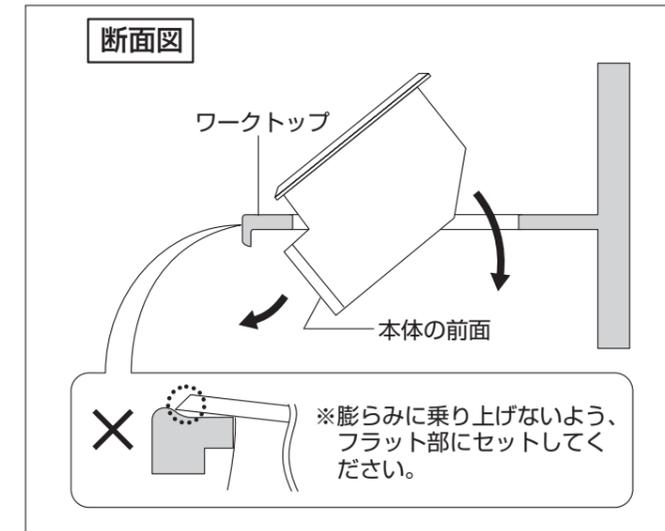
- 本体はトッププレートのふちや手掛部を持ち取り扱ってください。
- ワークトップに傷を付けないように包装用のダンボール板を敷いてください。
- 上下のグリル枠を変形させないように注意してください。

※トッププレートは外さないで設置してください。



2 ワークトップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

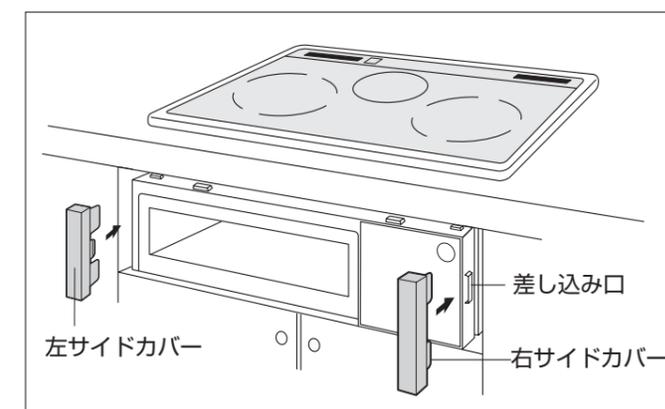
- はめ込み時は、本体の前面をワークトップに当てないでください。
- 本体前面の保護カバーは、本体をワークトップにはめ込むまで絶対外さない。(スイッチの破損や本体の前面に傷がつく原因になります。)
- 本体の前面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。(本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間が生じます。)



※トッププレートは外さないで設置してください。

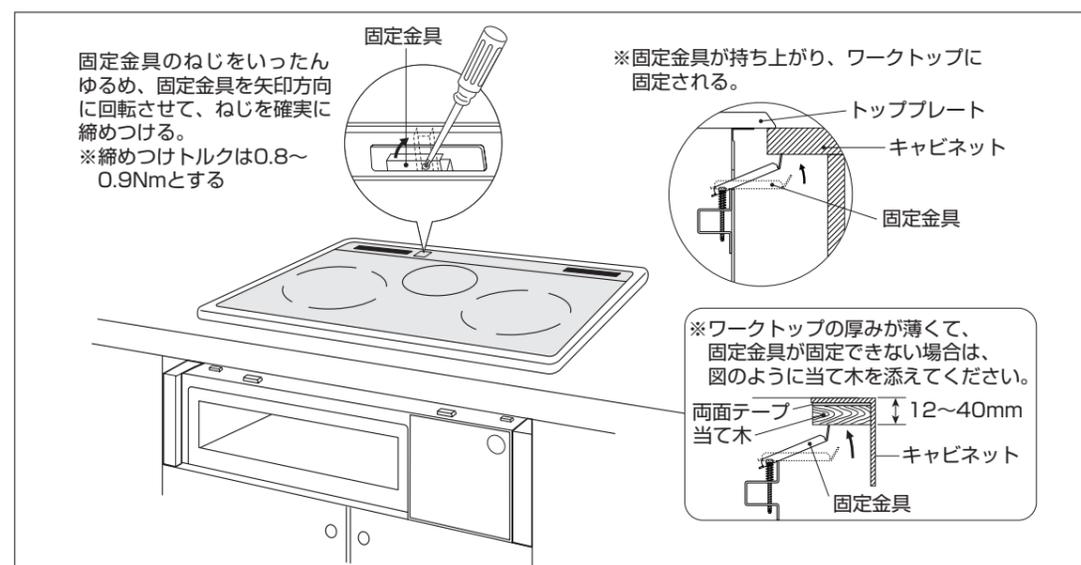
3 サイドカバーを取り付け、本体の位置を調整する

- ねじをゆるめ本体前面の保護カバーを外し、ねじをしめ直す。
- 本体側面の差し込み口に、サイドカバーを取り付ける。
- サイドカバーとキャビネットの左右側面とのすきまが均一になるように、本体の位置を調整する。キャビネットの前面(扉面)に本体の前面が合うように、本体の位置を調整する。



4 固定金具を固定する

- 固定金具でワークトップに本体を固定する。

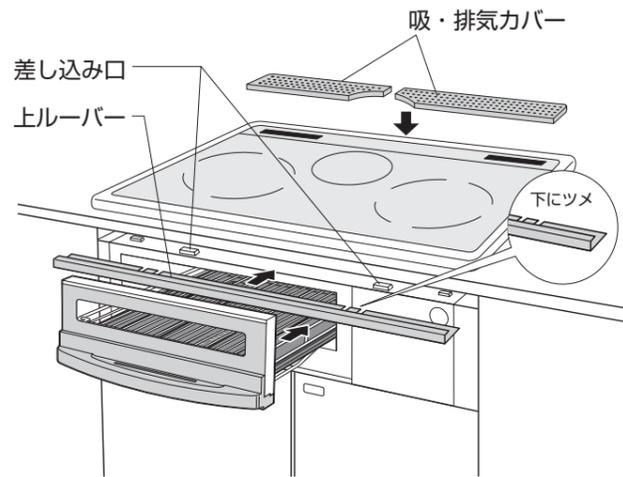


7 据付完了後

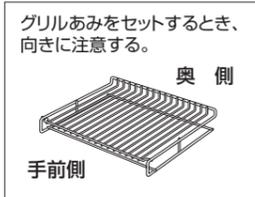
上ルーバー、吸・排気カバー、グリル扉(受け皿)、グリルあみの取り付け

- ①グリル枠上の差し込み口に上ルーバーを取り付ける。
- ②吸・排気カバーを取り付ける。
- ③グリル扉(受け皿)、グリルあみを取り付ける。

●受け皿の左右を庫内の底部に添わせ、斜め上からはめ込んでください。
 ※天ぶらなべ、取扱説明書、保証書は必ずお客さまにお渡しください。



上ルーバーをセットして、確実に固定されていることを確認してください。ゆるいときはツメを上方に少し曲げるだけで、固くなりますので調整してください。



隙間かくし上下ルーバーについて〈別売部品〉

■据付高さによりキャビネットとの間に隙間ができる場合に必要です。
 ※上ルーバーの上部は3mm以上の隙間をあけてください。(本体冷却用の風路になります。)

隙間かくし上ルーバー

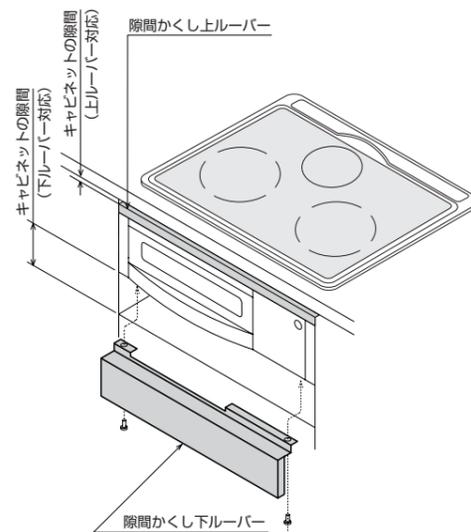
品名	色	製品寸法 奥行×幅×高さ (キャビネットの隙間)
CS-ZO3T10-S/ CS-ZO5T10	シルバー/ ブラック	15×595×16.5mm (13mm)

※同梱品の上ルーバーをはめた状態での隙間を示します。

隙間かくし下ルーバー

品名	色	製品寸法 奥行×幅×高さ (キャビネットの隙間)
CS-ZO5U9-S/ CS-ZO5U9	シルバー/ ブラック	36.2×595×19mm (9mm)
CS-ZO5U25-S/ CS-ZO5U25	シルバー/ ブラック	36.2×595×34.5mm (25mm)
CS-ZO5U50-S/ CS-ZO5U50	シルバー/ ブラック	36.2×595×59.5mm (50mm)
CS-ZO5U80-S/ CS-ZO5U80	シルバー/ ブラック	36.2×595×89.5mm (80mm)

本製品を購入された販売店へお問い合わせください。



※詳細は各別売部品添付の取付要領図をご覧ください。

8 据付後の確認

■据付終了後、次の手順で確認し、チェック欄に○印をしてください。

確認項目	チェック
梱包材の取り外し	トッププレート上、グリル受け皿とグリルあみ、吸・排気口の梱包材
同梱品などの取り付け	吸・排気カバー、グリル受け皿、グリルあみ、上ルーバー、サイドカバー
お客様にお渡しする	取扱説明書、保証書、据付説明書、天ぶらなべ(梱包箱から取り出す)
外観	トッププレート部のフレームが浮いていないことを確認する トッププレートが汚れていないことを確認する
電気工事	電源プラグの接続 漏電ブレーカーの設置

確認試験	確認試験
①電源電圧が単相200Vであることを必ず確認する。 ②ブレーカーを「入」にする。 ③電源スイッチを「入」にする。	●電源ランプとタイマー表示部に「88」が点灯する。
④各ヒーターの動作チェックをする。 ■左・右IH 上部操作キーで ① [左IH入/切] と [右IH入/切] を各1回押す。 ② 左右の [▶] を各1回押す。	①トッププレートの入/切ランプが点灯する。 ②トッププレートの火力表示ランプが点滅する。 ※トッププレートの加熱部に、鉄系のなべ等が置かれている場合、加熱されます。上記の火力表示の点滅はなべが無く、通電されていない状態を示しており、正常です。
■中央ヒーター 上部操作キーで ① [中央IH入/切] を1回押す。 ② [▶] を1回押す。	①トッププレートの入/切ランプが点灯する。 ②トッププレートの火力表示ランプが点灯する。 ●約3秒後にトッププレートの中央ヒーター部分が赤熱する。
■グリル(グリル扉を閉じた状態で) 上部操作キーで ① [グリルスタート] を1回押す。 ② [グリルスタート] を1回押す。	①トッププレートの表示「姿焼き」と「焼き加減」ランプが点滅する。 ②トッププレートの表示「姿焼き」と「焼き加減」ランプが点灯し、「グリル」ランプとタイマー表示部が点滅する。 ●約1分後にグリル庫内が熱くなる。

確認試験後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

【総消費電力の切り替えについて】(CS-G38M 20Aは除く)

本製品は、総消費電力を5800W(工場出荷時の設定)・4800Wの2段階に切り替えることができます。アンペアブレーカーの容量不足の場合などで、ご使用上不便があるときに選べます。
 ※詳細は、お買上げの販売店へお問い合わせください。

●切り替え方法

※手順を間違えた場合は、必ず電源スイッチを「切」にしてから、手順1からやり直してください。

1. 電源スイッチを「入」にする	➡	1. タイマー表示部に「88」が点灯する。
2. グリル [停止]、[タイマー停止] を同時に約3秒押す	➡	2. タイマー表示部に数字が点灯します。
3. 中央ヒーター [◀] [▶] を同時に約3秒押す	➡	3. タイマー表示部に「58」が点灯する。
4. 右IH [◀] を押す 右IH [▶] を押す	➡	4. タイマー表示部が「48」に切り替わる。 タイマー表示部が「58」に切り替わる。
※約1分間操作しないと、電源スイッチを「入」にしたときの画面に戻ります。手順1からやり直してください。		—
5. [決定] を押して決定する ※決定後、約1分間経過すると表示が消えます。 ※決定しないまま約1分経過して、電源スイッチを「入」にしたときの画面に戻ってしまったときは、設定変更はされていません。手順1からやり直してください。		—
6. 電源スイッチを「切」にする		—

据付年月日	年 月 日
据付店名	TEL

お客さまへ……おぼえのために、据付年月日、据付店名を記入されると便利です。



愛情点検

三菱電機株式会社
 三菱電機ホーム機器株式会社
 〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1

ZT790Z657H52 *